

消費者問題に関する特別委員会

委員一覧 (25名)

委員長	宮沢 洋一 (自民)	島田 三郎 (自民)	宮沢 由佳 (立憲)
理事	太田 房江 (自民)	柘植 芳文 (自民)	熊野 正士 (公明)
理事	徳茂 雅之 (自民)	堂故 茂 (自民)	佐々木 さやか (公明)
理事	三原 じゅん子 (自民)	中川 雅治 (自民)	竹谷 とし子 (公明)
理事	田名部 匡代 (民主)	福岡 資麿 (自民)	片山 大介 (維希)
理事	斎藤 嘉隆 (立憲)	渡邊 美樹 (自民)	山口 和之 (維希)
	青木 一彦 (自民)	大野 元裕 (民主)	大門 実紀史 (共産)
	小野田 紀美 (自民)	森本 真治 (民主)	
	尾辻 秀久 (自民)	福島 みずほ (立憲)	(31.1.28 現在)

(1) 審議概観

第198回国会において、本特別委員会に付託された法律案は、衆議院提出1件（消費者問題に関する特別委員長提出）であり、可決した。

なお、本特別委員会に付託された請願はなかった。

〔法律案の審査〕

食品ロスの削減の推進に関する法律案は、食品ロスの削減を総合的に推進するため、食品ロスの削減に関し、国、地方公共団体等の責務等を明らかにするとともに、基本方針の策定その他食品ロスの削減に関する施策の基本となる事項を定める等の措置を講じようとするものである。

委員会においては、提出者衆議院消費者問題に関する特別委員長より趣旨説明を聴取した後、採決の結果、全会一致をもって原案どおり可決された。

〔国政調査等〕

3月19日、消費者行政の基本施策について宮腰内閣府特命担当大臣から所信を聴取した。また、予算委員会から委嘱さ

れた平成31年度内閣府（内閣本府（消費者委員会関係経費）、消費者庁）予算の審査を行い、地方消費者行政強化交付金の減額が地方消費者行政の推進に与える影響、公益通報者保護制度の見直し、食品中の放射性物質や風評被害の防止等に関する情報発信の必要性、食品ロス削減に係る推進会議への厚生労働大臣の参加の必要性、地方消費者行政の自主財源を増大させるための方策、エレベーターの安全確保に向けた取組を継続する必要性等の諸問題について質疑を行った。

5月22日、大臣の所信に対し、消費者政策の推進における事業者・消費者・行政の連携及び協働の在り方、日本放送協会の受信契約等に関する指導・相談体制を改善する必要性、柔軟仕上げ剤等の香料による健康被害の実態把握及び対策の必要性、農薬グリホサートの食品中の残留基準緩和の問題性、子どもの事故防止に係る消費者庁のシンボルキャラクター「アブナイカモ」の使用の取りやめに至る経緯、消費者の目線に立った消費者行政の推進に向けた大臣の決意、高齢者の

消費者被害に対する政府の取組、P I O - N E Tの更新に向けたA Iの活用等の検討状況、福島県産食品に関する風評被害の払拭に向けた大臣の決意、保健機能食品制度の現状と今後の機能表示等の在り方、既に公的支援の対象となっている子ども食堂を休眠預金等の活用事業の対象とすることの可否等の諸問題について質疑を行った。

5月29日、訪問購入（訪問買取り）に関する消費生活相談の実態、ゲノム編集技術応用食品及び食品添加物に係る表示の在り方、食品安全におけるリスクコミュニケーションの在り方、食品ロス削減に向けた取組への支援策、消費者行政新未来創造オフィスの今後の在り方、預託商法に係る法制度等見直しの必要性等の諸問題について質疑を行った。

(2) 委員会経過

○平成31年1月28日(月) (第1回)

○特別委員長を選任した後、理事を選任した。

○平成31年3月19日(火) (第2回)

○消費者行政の基本施策に関する件について宮腰内閣府特命担当大臣から所信を聴いた。

○政府参考人の出席を求めることを決定した。

○平成三十一年度一般会計予算（衆議院送付）
平成三十一年度特別会計予算（衆議院送付）
平成三十一年度政府関係機関予算（衆議院送付）

（内閣府所管（内閣本府（消費者委員会関係経費）、消費者庁））について宮腰内閣府特命担当大臣から説明を聴いた後、同大臣、左藤内閣府副大臣、向大野衆議院事務総長、政府参考人及び参議院事務局当局に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

徳茂雅之君（自民）、福島みずほ君（立憲）、田名部匡代君（民主）、竹谷とし子君（公明）、片山大介君（維希）、大門実紀史君（共産）

本委員会における委嘱審査は終了した。

○令和元年5月22日(水) (第3回)

○政府参考人の出席を求めることを決定した。

○参考人の出席を求めることを決定した。

○消費者行政の基本施策に関する件について宮腰内閣府特命担当大臣、左藤内閣府副大臣、安藤内閣府大臣政務官、政府参考人及び参考人独立行政法人国民生活センター理事宗林さおり君に対し質疑を行った。

也君に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

徳茂雅之君（自民）、小野田紀美君（自民）、福島みずほ君（立憲）、田名部匡代君（民主）、熊野正士君（公明）、山口和之君（維希）、大門実紀史君（共産）

○食品ロスの削減の推進に関する法律案（衆第8号）（衆議院提出）について提出者衆議院消費者問題に関する特別委員長土屋品子君から趣旨説明を聴いた後、可決した。

（衆第8号）

賛成会派 自民、立憲、民主、公明、維希、共産

反対会派 なし

○令和元年5月29日(水) (第4回)

○政府参考人の出席を求めることを決定した。

○参考人の出席を求めることを決定した。

○訪問購入（訪問買取り）に関する消費生活相談の実態に関する件、ゲノム編集技術応用食品及び食品添加物に係る表示に関する件、食品安全におけるリスクコミュニケーションに関する件、食品ロス削減に向けた取組への支援策に関する件、消費者行政新未来創造オフィスの今後の在り方に関する件、預託商法に係る法制度等見直しの必要性に関する件等について宮腰内閣府特命担当大臣、左藤内閣府副大臣、政府参考人及び参考人独立行政法人国民生活センター理事宗林さおり君に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

宮沢由佳君（立憲）、森ゆうこ君（民主）、
熊野正士君（公明）、竹谷とし子君（公明）、
片山大介君（維希）、大門実紀史君（共産）

○令和元年6月26日（水）（第5回）

- 消費者問題に関しての総合的な対策樹立に関する調査の継続調査要求書を提出することを決定した。